



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

5 緑もまぶしい 月号

福玉便り

2014年5月1日(木)発行

ふ く た ま だ よ り

通巻 第24号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

復興公営住宅モデルルーム 見学ツアー



平成26年度第1期福島県復興公営住宅の入居募集が始まりました!浪江町復興支援員埼玉事務所では、いわき市にあるモデルルームを見学するツアーを企画しました。ぜひ、ご参加ください。

- 日時: 2014年5月9日(金)
- 時間: さいたま新都心 7:30 出発～
川口駅西口 8:30分出発～
南越谷駅 9:00出発
帰着目安 南越谷 19:00 さいたま新都心20:00
- 行き先: 復興公営住宅モデルルーム →
かんぼの宿(昼食・入浴) →
いわき・ら・らミュウ
- 参加費: バス代無料。かんぼの宿での食事代、入浴料は各自でご負担いただきます。
- 定員: 先着40名
- お申込お問い合わせ
◎浪江町復興支援員埼玉事務所 TEL 080-5749-2996
◎(一社)埼玉県労働者福祉協議会 TEL 048-833-8731
※キャンセル等のご連絡は、5月7日(水)までお願いいたします。

進学教育説明会



- 日時: 6月15日(日) 14時～16時30分
- 会場: ときわ会館 5階・中ホール
- 内容: 東日本大震災・福島第一原発事故により広域避難されている中学生(小学生)をお持ちのご両親、ご本人を対象として開催します。埼玉県教育委員会の進路指導担当者や昨年・今年お子様の進学を経験した避難者による経験報告など。
- 主催: (一社)埼玉県労働者福祉協議会
- 後援: 埼玉県教育委員会

ドキュメンタリー映画 「原発被災地になった故郷への旅— 福島県南相馬市—」

構成・撮影・編集 杉田このみ

- 出演: 志賀泉(太宰治賞作家)
- 日時: 2014年6月14日(土) 13:30～
- 場所: 上尾シラコバト団地24号棟
(埼玉県上尾市大字上 370)
- 会場: シラコバト団地24号棟第一集会室
- 内容: 映画上映会
杉田氏・志賀氏によるトークセッション
意見交換を兼ねた交流会
- 備考: 駐車場有り 入場無料
- 問合せ: シラコバト団地自治会 048-607-6723
東日本大震災に咲く会ひまわり
080-3091-6215(橘)



この映画は、2013年5月に小説家の志賀泉氏(神奈川県在住)と、彼の故郷である福島県南相馬市を旅した記録。現在の状況も紹介しながら、志賀氏の少年時代の思い出の場所を歩いたものです。

あなたのお話を 聴かせてくださいませんか

福玉ママカフェからのお願い

「3年たって、これまでは生活のことでいっぱいだったけれどようやく周りが見え始めた」「学校関係で挨拶をするような知り合いはできたけれど」「同じ境遇のママどうして話したい」…そんなあなたのお話を聴かせてくださいませんか。お住まいの地域へお伺いします。お気軽にお問い合わせください。

連絡先 ハンズオン!埼玉:048-834-2052
sachiyo0@beige.ocn.ne.jp(谷居)

福玉サロン in 川越



4月9日、コーププラザ川越にて、第5回福玉サロンが開催されました。

福玉サロンも5回目になります。今回は、50人近い参加者が集い、手作りのちらし寿司、おいきりさん、根菜汁をおいしくいただきました。

浪江町復興支援員のみなさんがご自宅を訪問し、そこで得たつながりから、この福玉サロンは開催されています。福玉登録(※)されている世帯には必ず訪問しているのですが、浪江町の方だけではなく、宮城・岩手の方、大熊町、富岡町や南相馬市、いわき市など、さまざまな地域で出身の方が参加されていました。



食後に行われたふるさと福島(方言)クイズでは
『(1)』 って言

うねー
『こえー(2)』 ってなん
だっけ？
『さすけね(3)』 って言
うね

そんな声飛びかかっていましたが、そんな中、全問正解という「さすが！」な方もいらっしやいました。

最後は、復興支援ソング「虹を架けよう」福島バージョンの演奏。石上さんのブルースハープが本格的な素敵演奏でした。

(編集部・伊藤)

※福玉登録……避難されているらっしやる方が、埼玉県労働者福祉協議会に「福玉登録」を申し出ていただくと、毎月、出来立ての福玉便りがご自宅に届きます。まだ登録がお済みでない方は、どうぞご連絡ください。048-833-8731

クイズの答え

- ①かがらし＝うるさい
- ②こえー＝疲れた
- ③さすけね＝気にしなくてよい

次回は、6月18日に所沢で開催予定です！

幸手市・富岡町夜の森の桜花見会

去る4月6日、第2回幸手・富岡夜の森の桜花見会が開催され、富岡町から避難されている方を中心に、約80人が参加しました。この花見会は、14年前の「第12回さくらサミット」の際に植樹された「富岡町夜の森のソメイヨシノ」の前で花見会を行い、富岡町民のつながりを維持しようと昨年から開催されているものです。



富岡町民、双葉郡の人たちにとって、「桜・花見」と言えば富岡町の「夜の森の桜(並木)」でした。震災・原発事故により首都圏に避難してもその気持ちは変わらないようです。「富岡町夜の森の桜」が埼玉県幸手市の権現堂桜堤に植樹されていた。そのことだけでも勇気づけられるものです。その「ソメイヨシノ」の前での「花見会」は特別です。

当日は、杉戸元気会や全国福島県人友の会の会員だけでなく、浪江町や楢葉町から避難されている方や杉戸町長・富岡町長をはじめ多くの関係者が集まり、ふるさと＝富岡町夜の森(の桜並木)に思いを寄せ、語り合い、お酒も飲みながらの懇親が行われました。(編集部・永田)

ミステリー列車の旅

3月29日、さいたま市地域労働協が主催した「ミステリー列車の旅」に60人が参加しました。参加費負担という形でしたが、定員の

58名を超える申し込みがあり、大盛況でした。参加できなかったみなさま、申し訳ありませんでした。



JR大宮駅を7時45分に出発した「先行不明のミステリー列車」は、武蔵野線から青梅線(白梅紅梅が咲き乱れる)中央線

越谷一步会の「卒業」式



4月12日、越谷市の市民活動支援センターにて、一步会の総会が開かれました。この日の総会は、特別な意味を持っていました。一步会から越谷一步会が「卒業」する日だったからです。

一步会は2011年3月30日の結成以来、ヨット体験、いちご狩り、ジャガイモ栽培などの活動を通して交流を続け、今年3月で交流会は100回目を迎えました。多い時には300人ほどの会員がいましたが、次第に越谷から出て行く人も増えたため、昨年4月から、会長の新妻敏夫さん(樫葉町)が全国各地との交流を担当、副会長の石上清さん(浪江町)が越谷一步会の代表を担当して、それぞれ活動を進めてきました。しかし、3年という一つの区切りを迎えて、越谷一步会は一步会から卒業という形を取ることにになりました。

総会では、この一年間の活動報告のち、越谷一步会の卒業が承認されました。会長の新妻さんからは「どこにいても寂しがないで、今まで通りに連絡を取り合ってくださいませよう」、副会長の石上さんからは『自立』と言って

も宙に浮いた状態が続いていますが、お互いに助け合って、前向きに生活していきましょう」と挨拶がありました。事務局長の安齋さんからは、「越谷市民にとって一歩一歩の活動でした。どうかひとりぼっちにならないでください」と呼び掛けられました。最後に、越谷一步会の皆さんから一步会事務局の皆さんに感謝の花束が贈呈され、記念撮影をされました。

卒業と言っても、皆さんが離れ離れになる訳ではありません。石上さんは、今後毎年数回の交流会を続けていきたいそうです。「3年前は大変で、事務局の方々に本当にお世話になりましたが、これまで私たちが事務局に頼りすぎたところもあったと思います。他方で、浪江町復興支援員としていろんな方を訪ねていると、一步会の会員ほど前向きにない方が、越谷市や埼玉県内にたくさんいらっしゃるのことがわかりました。これからは一步会の会員に限定しないで、越谷に避難した人全員が集まれるようなサロンを作りたいと思います」と石上さん。越谷市で、新たな一歩が踏み出されました。

(編集部 原田)

高尾駅を経て進み、到着した駅は、大方の予想を裏切って富士急河口湖駅でした。

3月末の河口湖は、ところどころに残雪があり、桜もつぼみのままでしたが、富士山の雄姿にみんな大歓声、往復の道中も家族や避難先で知り合った友達との話で盛り上がり、楽しい一日になったようです。因みに編集部N田は日帰り温泉でのんびりを過ごしました。(編集部・N田)

サイボクハムBBQ

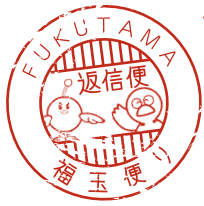
4月5日、日高市にある「養トン牧場」直営のレストランサイボクで「家族BBQ交流会」を開催しました。当日はお天気にも恵まれ、埼玉県内各地から集まった200人で大盛り上がりです。

休日でのイベントということもあって、「福玉のイベントに初めて来ました」と言う方や「普段は福島で仕事をしているお父さんと一緒に来ました」という母子避難の方もいました。また、ある女性は、「3年振りにお友達に会えたわよ!ありがとう」と久しぶりの再会を喜んでいました。

美味しいお肉でおなかがいっぱいになった後は、浪江町復興支援員の皆さんによるビンゴゲームで盛り上がり、「福島応援ソング『虹を掛けよう』」をみんなで歌い、次の出会いを約束しながら、解散しました。

イベントの後は、アスレチック公園で子どもたちの笑い声を聞きながら、お母さん同士のおしゃべりタイムになっていました。(編集部・永田)





5月号の
教えて!

ふるさとの春といえば 今の/これからの暮らしについて



福玉便りをご愛読ありがとうございます。返信いただいたおハガキで構成する「読者のページ」です。

春といえは ふるさとの

質問①「ふるさとの春」といえば、まず何を思い浮かべますか?

ふぎのとうが 顔を出し、母は毎年
わらび取りに山へ行くのが楽し
だった。大量のわらびをアボ抜き
して近所などに配っていたなあと、思
い出す。

(植木麻衣子さん・南相馬→加須・30代)

質問②「今の/これからの暮らし」について考える上で、だいたい
にしたいこと、悩んでいることなどがあればお書きください。
(例えば、住宅のこと、子どもの教育のことなど、具体的に)

福島の家は被害がありませんが、
家が被害、子供たちは帰らない、と云
うのでどうしたら良いのか、今迷って
います。墓も帰って来ない、墓も帰
る事に対して、うらやま、と悩む
ことが多く成り果てました。

(村上秀雄さん・楳葉→さいたま・70代)

▼自宅は公立幼稚園と小学
校の通学路。夫は花木・姑
は草花2人とも庭好きで良
く手入れしていた。白加賀
の梅の古木は大輪の花(雪
降りと出逢う年もあった)
椿 木れん、しゃくなげ、
さくらんぼ、藤 プラム、
ビックリグミ、バラのアー
チ、水仙、ヒアシンス、ク
ロッカス、ムスカリ、ピオ
ラ、チューリップ、ロー
ダンセ、しゃくやく、登下
校時、散歩する子ども達や

大人達に花の香りは喜ばれ
て、軒下でお茶会になった。
除染の為に、幹だけが残り
た木々と赤土を盛られた石
庭を見ると涙。(南相馬→
さいたま・60代)
▼吾妻山の雪うさぎで
しようか。山肌にも雪うさ
ぎが見えてくると「あ
春がきたんだな」と
思いながら生活していま
した。(福島→川口・40代)
▼田植えの準備で多忙な日々
を過ごしています。その間に
山菜を採ったり、山女や岩魚
を釣ったり自然の中で幸せに
満ちていることでしょう。(楳

今の/これからの 暮らしについて考える 上で、悩んでいること

▼ビニに落ち着いたら良い
の見当付かず、家を買っ
た方が良いのか、それと
も施設入所した方が良い
のか迷います、あちこち
で新築したとか家を購入
したとか聴くとあせって
しまいます。(福島→埼玉)
▼福島を出てくる時は「も
う戻らない」覚悟で出て参
りました。でも一時立入り
で少しづつ賑やかになって
いくのを見るにつれ、(以
前の人っ子一人居ない車も
走っていないあの時の落ち
込み、今も思い出します)

「もしかす」と暮らせるか
も?」と思い始めました。
こう思えた時すぐ元気が
でました。落ち着いて考え
てみると現実的に本当にそ
うできるだろうか?と不
安。(富岡→さいたま・50代)
▼悩みに悩んで母子避
難をしました。主人は
福島県…。果たしてこ
れで本当によかったかど
うか、毎日悩む日々で
す。(郡山→春日部・30代)
▼物資の支援は無くなりまし
た…。スーパーや復興支援で
購入する費用も増加、交通費
は減額です。賠償金は回を重
ねる毎に明細項目が少なく
なったように感じるし、例に
記入されている金額だと4万
円単位。自分の無能力の原因
が小額会費せざるを得ない状
況なのか不満。(南相馬→さい
たま・60代)
▼物資の支援について…わ
ずかですが埼玉労働協から
お届けしています。お問い
合わせください。(編集部)



▼福玉便りに「福島の今」
がわかるような記事がもっ
とあるといいなあと思いま
す。県中、県南、県北、浜
通りそれぞれがあると嬉し
いです。(福島→川口・40代)
▼福島から来ている方々が
開いているお店の情報をこ
れからも知りたい。(いわき
→羽生・40代)
▼福島の今、素敵なお店情報
ご存知の方がいらしたら教え
てくださーい!(編集部)
▼住宅問題 東京の動き、
真剣に読みました。いちば
ん大事な問題です。退去に
ついては2、3年前にその旨
を伝えて欲しいと思います。
(富岡→さいたま・50代)
▼女性のための電話相談
くしがあるのですが女性
限定しかなないので男性でも
相談可能な電話相談がある
と非常に助かると思います。
▼よそのホットライン(0120-
279-386)、毎月11日は「震災
被災者専用相談」です。お電
話ください。他の相談窓口な
ど、「2014春の号外24ペー
ジ」にも情報がありません。



たくさんのお葉書をお寄せいただきありがとうございます。全てを掲載できず残念です。次号でもご紹介できればと思います。

双葉町民として夫婦で復興と向き合う…

茨城県つくば市・つくば避難所 自治会長

双葉町婦人会長

中村希雄さん

中村富美子さん

●双葉町、アリーナ、旧
騎西高校

2011年3月11日、仕事中、津波に襲われました。

自力で這い上がり、ずぶぬれで自宅に戻りました。幸い、家族全員が避難先の双葉北小学校で再会することが出来て、ガソリンを工面しながら、親戚のある静岡県にたどり着きました。その親戚宅で、双葉にはしばらく戻れないのではないかと予感

し、婦人会長である妻富美子さんと相談して、地震も放射能の心配もない、静岡県で避難生活をはじめようと思っていました。

しかし、テレビで



双葉町民がさいたまスーパーアリーナに避難している様子を観た、妻の「私たちだけがここにいてよいのだろうか」という一言で、やはり町民と一緒に復興への道を作っていくと決意し、さいたま市に戻りました。

その後、旧騎西高校での生活が始まりました。「化学室」が私達の住まいで、いつも人が集まっていたので、みんなの苦しい悩みを聞く毎日でしたが、自分たち夫婦の存在価値を実感したときでもありました。



月日も経過した秋ごろ、避難所を出て自立を考えるようになりまし。ほんの数日で帰ろうと思つて避難した双葉町の体育館から半年……。3月11日午前中までは、仕事や地域活動で、人のために動いていた私たちが、人様の世話にばかりなつ

ていられない。自立してほかの人のために動かなくては……」と強く考えるようになりました。ダンボールを切った箱に、お弁当をもらつていた姿を自身で想像しては、「悔しいね……」と体育館の脇で、みんなで泣きました。その悔しさが、今のつくばでの生活の土台になっています。

●「自立」への一歩…つくば避難所

現在、双葉町の自治会組織は、震災で行政区がなくなり、それに代わるものとして、仮設が12、それに借り上げの自治会を加えて14自治会あります。このつくば市では、国家公務員住宅の空き部屋に47世帯で暮らしています。つくばの借り上げは、集会場もあるし、恵まれていますが、平成27年3月までが期限があるので、ソワソワして落ち着きません。ですから自治会は、何かに向き合おうと、「グラウンドゴルフ」で親睦を図っています。また、婦人学級を改め、男性も参加して良い「つくば生

活学級」を開催し、今の暮らしを少しでも向上させていくこうとしています。さらに、「相馬流山踊り」を練習し、全国各地のイベントに参加し、双葉町を忘れないでもらうための活動をしています。

●自分たちのことは後、そうしないと見えなくなる

このつくばの住宅も、最初は草ぼうぼうでした。そこを皆で綺麗にしました。そうしたら来たいという人たくさん出てきて、「こんないいところなの」とまで言われる避難所になりました。それでも時が経つて、現在、決断して、ここからポチポチと出て行く人もいます。少しさびしいけれど、それでいいのだと思います。

双葉には帰れないと思つています。出来ないことを考えても、クヨクヨしても仕方ないじゃないですか。我々もいつまでここにいられるかわからないけど。

●住むところは離れても双葉の心は永遠に…

私達夫婦の未来は、今は白紙です。そう考える努力をしています。旧騎西高校から、「自立」を目的に、この場所に皆を呼んだのは私達夫婦だからです。自分のう

ちのプランを考えていたら、一緒に来てくれたみんなのことが見えなくなる気がするので。政治家の言うことも変わります。参考には聞けけれど、最後は自分たちで判断しなくてはならないと思つています。



ここに残つた人は仲良くしよう、皆で双葉に帰って復興したい…その思いもだんだん薄れてきているのが実態です。だから、毎月、11日に慰霊祭を中庭でやっています。毎月の慰霊祭で、双葉のコミュニティを維持し続けるためです。いつか戻つた時のために…。戻れないけど戻りたい…その思いだけは忘れないようにしないと。離れ離れになつていく双葉町民の心の絆だけは、生きていく限りつないでいこうと思つています。婦人会長として、小さな避難所の自治会長として。(聞き手：コープみらい／編集部・福岡)

小島絹代さん

岩手県大船渡で被災

去る3月11日、上尾市で開催された東日本大震災追悼記念式典の第二部の交流会で、チャージングな笑顔で参加者の世話を焼いている女性がいいた。聞けば、この春から民生委員を引き受けられるとのこと。後日、あらためてお話しをうかがいました。

(編集部・西川)

女性の名前は小島絹代さん。岩手県千厩(せんまやちよう)(町(現一関市)で育ち、結婚して大船渡市に住んで40年。3人のお子さんを育て、それぞれ独立。一息ついたところで、09年5月に連れ添った主人が病気で亡くなった。その2年後、地震が発生。避難所になっていた中学校の体育館に避難している間に、津波が自宅を襲った。「まさかうちまで津波が来るとは思っていませんでした。しばらくは、朝昼晩、冷たいおにぎり一つで、つらか

った。」

川崎に住む、娘さんのお友達のご両親が陸前高田に住んでいて、その方が避難所に訪ねて来てくれて、ようやく子どもたちと連絡がとれた。その後、娘さんがいる横浜市都筑区に避難。「最初の一年はつらかったですね。整形外科、内科、歯科……ひたすら病院に通いました。帯状発疹も出たし、円形脱毛症にもなりました。」



2012年3月、上尾市しらこばと団地に移住。「なにもかも都会の団地サイズで小さいなあと思いました(笑)」

「家に一人でいるより、ボランティアでもなんでもいいので、外に出たら」と娘さんに言われ、社会福祉協議会のボランティアセンターに相談。紹介された高齢者のデ

イサービスに通いはじめた。週一回2時間、お昼にお茶を出したり、配膳のお手伝

いをしたり。加えて、団地の避難者の会である「ひまわりの会」の会合に参加(月一回)したり、絵手紙サークルやウォーキングの会にも参加するようになり、充実した日々をおくっている。

誰とでも仲良くなり、世話を焼く小島さん。さらに団地の自治会長さんから声がかかり、半年ほどまえから、自治会主催のサロンのボランティアをするようになった。サロンに集まってくる高齢者の方々に、コーヒーをいれたり、一緒に歌をうたったりして、「楽しく一日を過ごしています。」

「じつとしてても一日、動いても一日です」と笑う小島さん。震災前から頼まれると断れないたちで、PTA会長や婦人会長を引き受けてきた。

昨年春から、団地で知り合った避難者のお友達3人で、秩父34霊場の札所巡りを

はじめた。毎月一回、一年かけて歩いた。「最初は駅の近くのお寺に。だんだんと駅から遠くにある霊場までふう言いながら歩きました。歩くといろんな人に出会えました。山道も自分の足でこえて。ふりかえってみると、この先やっていくのに自信になりました。」

そして、今後については、「せっかくできたつながらですし、この団地が大好きなので、できればずっとここにいたいですが、借上げ住宅の期限が切れたあと、どうなるか心配です。」

さらに自治会から、民生委員を頼まれ、4月からは22世帯を担当することになった。「私にとつて『復興』は、楽しく暮らすこと。そして、みんなの役にたっているっていうことですかね。成長していきたいということなんです。とじこもっている人には一歩踏み出して、出てきてほしいですね。」

放射能から避難したママネット@埼玉



地域にとけ込もうと努力しているママは多いと思いますが、学校を通じて知り合った人やご近所の方…自主避難生活の悩みまでは誰にでも話せるわけではありませんよね。細々とでもそんな思いを話せる場を持ち続けたいと思っています。

4月12日は大宮公園でピクニックをしました。きらきら星ネットの学生グループがボ

ランティアで来てくれ、サッカーやシャボン玉、鬼ごっこ、すぐ隣の博物館・動物園にもお散歩に連れて行ってもらい子どもたちもお日様が傾くまで遊び、お母さんたちも話はずきませんでした。

学習支援の活動や茶話会も企画しています。遊びにきてください。連絡先：木村 bjskr146@yahoo.co.jp

【避難住宅問題を追う】

— 福島県と国(内閣府)の
担当の方に伺いました

応急仮設住宅にいつまで住めるのか、交流会でもよく話題になります。現在、応急仮設住宅(借り上げ住宅等も含む)の提供期間は、災害救助法、そして関連する特別措置法で決められ、現在、「提供期間は平成27年3月まで」と通知されています。平成27年3月まであと1年もありません。

全国各地で、避難先自治体との懇談や、避難者の希望を汲んだ国への意見書の提出などが行われています。

4月16日現在、福島県生活環境部避難者支援課の埼玉県ご担当のお話をでは、現在、福島県としては、提供期間の延長をお願いし、国と協議中とのことでした。

応急仮設住宅の国の担当部署は昨年10月から、厚労省から内閣府の防災担当に変更になっていいますが、内閣府防災担当の方も、同じように、協議中であるとおっしゃっていました。はつきりしたことが言えなくて申し訳ないが、できるだけ早く決定し、通知したい、ということでした。

ちなみに、2013年の4月2日(1年前)に厚労省から出された通知は、復興庁、国土交通省と連名で出され、「延長が可能なので、地域の実情を踏まえて延長が必要な場合は適切な対応を」と書かれています。

電話取材に対応してくださった福島県避難支援課の埼玉県担当の方も、「決定次第、すぐお知らせします」と住宅の問題を気にかけてくださっていますので、通知が出次第、福玉便りでも掲載させていただきます。(編集部・伊藤)

【院内集会のご案内】

避難住宅の問題について、復興庁及び国会議員に対し、申し入れが計画されています。主催は、原発事故子ども被災者支援法ネットワーク(日本弁護士連合会、JCN※1)、支援法市民会議※2)によって構成されるネットワークです。場所は参議院議員会館なので、東京になります。ご質問・参加希望等は、編集部・伊藤までご連絡ください(070-669519259)。

■タイトル「原発被災者の住宅確保を求め院内集会」

■主催 原発事故子ども被災者支援法ネットワーク(日弁連、JCN、支援法市民会議)によって構成されるネットワーク

■日時 5月14日(水)正午から午後2時

■場所 参議院議員会館講堂(300人収容)

■開催趣旨 いま、原発避難者の住宅確保が岐路に差し掛かっています。原発事故から3年を経て、災害救助法の適用打ち切りが懸念される中、全国に散らばった原発被災者が入居する公営住宅やみなし仮設住宅から追い出される例なども実際に発生しはじめています。近畿地区や首都圏で市民団体が行った避難者状況調査などを元に、避難者を取りまく住宅問題の現状を共有し、安定的な住宅確保を求めたいことが本集会の目的です。

■内容(いずれも予定)開会挨拶 田邊日弁連副会長／基調報告 津久井進弁護士(打診中)／各地に避難している当事者の訴え／国会議員の発言

※1「JCN」東日本大震災震災支援全国ネットワークのこと。東日本大震災(3・11)の被災者支援、復興支援活動や東京電力福島第一原子力発電所事故の避難者支援活動を行う、全国の組織・団体の民間ネットワーク。主に支援団体向けの情報を提供。

※2「支援法市民会議」原発事故子ども被災者支援法について、その運用に原発事故被害者の声を反映させ、被害者のための具体的な支援策を実現することで、福島原発事故に起因する放射線被ばくを低減し、放射線の健康等への影響を回避することを目的として設立された市民団体。

ご寄付ありがとうございました! 福玉募金に618,423円のご寄付をいただきました(2013.3~2014.4)。大切につかわせていただきます。

振込用紙にかかれていたメッセージから

- ★可能な限り「隣に居る人」でありたいと願います。
- ★家庭菜園で作った野菜を地域の方々に買っていただいたお金です。
- ★避難されている方々の実情を知らせていくためにもたいへん貴重だと思います陰ながら応援させていただきます。

- ★(毎月送付くださって7回目)1ヶ月のすぎるのが早くて忘れていました。たった数ヶ月で忘れてしまうなんて気楽な立場ですよ。朝日新聞のプロメテウスの罫を読みながらあの時の恐怖と絶望感を思い起こしています。未だもとの戻れない皆様のこと、絶対に忘れてはいけません!

- ★いろいろなイベントがあっても参加できないことが多い日常ですが、心だけはつながってほしいと思います。福玉便りのしみにしています。
- ★避難していらっしゃる方々、どうかご自分を責めないでください。

ありがとうございます! ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。



「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただき、発行しています。



福玉便りのお届け作業と一緒にやったださる方、大募集
5月23(金) 13:30-16:00ごろ可能な
時間で。場所:埼玉労福協

福玉便りの発送は、編集部の面々でばたばたやっています。手も動きますが、口のほうが多く動いていると言われてます。もし、一緒に作業して下さる方がいらっしゃいましたら、ご連絡おまちします。労福協048-833-8731まで。



5月

月	火	水	木	金	土	日
			<p>■杉戸町 つつじの里サロン 13:30~15:30 1 杉戸住宅 6-301 毎週木曜★ 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局)</p> <p>■加須市 双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ 9:30~11:30 いきいきサポートセンター 080-5532-7380 (薄井さん)</p>	<p>2 ■上尾市 東日本大震災に咲く会ひまわり会 3 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>4 ■坂戸市・鶴ヶ島市・川越市 こみカフェ 10:00~ JUN ホール (川越市) ※場所の詳細は伊藤までお問い合わせください 070-6651-9259 (伊藤さん)</p>	
5	6	7	<p>8 ■加須市 双葉町民によるボランティアカフェ 10:00~15:00 いきいきサポートセンター 048-829-7400(SSN)</p> <p>■草加市 つながりの会 東北復興支援販売 11:00~17:00 物産・観光情報センター 048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当)</p> <p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111</p> <p>■鳩山町 パラソルカフェ 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)</p>	<p>9 ■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 平林寺周辺ウォーキング 12:00~ ※詳細は お問い合わせください 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p>		
<p>■千代田区 住宅問題院内集会 12:00~14:00 参議院会館 講堂 (300人) 詳細→ 7ページ</p>			<p>■復興公営住宅 モデルルーム見学会 詳細→ 1ページ (埼玉労福協)</p>			
12	13	14	<p>15 ■川口市 ひまわりの会 おしゃべりサロン ステップアップ 10:00~ やすらぎ会館 080-5431-0123 (島田さん) ★</p>	<p>16 ■加須市 双葉歌う会 13:30~ 寄り添いステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん)</p> <p>■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>17 ■ふじみ野市 おあがんなんしょ 定例サロン (エコラフトに挑戦) 13:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)</p>	
19	20	21	<p>22 ■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111</p> <p>■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)</p>	<p>23 ■さいたま市 福玉・謡曲の会 10:30~12:00 WithYou さいたま4F 和室 080-5532-7380 (薄井さん)</p>	<p>24 ■所沢市 青空あおぞら 25 賠償勉強会 (個別相談あり) 13:30~16:00 新所沢公民館 048-829-7400(SSN)</p> <p>■横溝町 バーベキュー交流会 小松沢レジャー農園</p>	
<p>■春日部市 春日部つながりカフェ (司法書士による相談対応可) 13:30~16:00 コーププラザ 春日部3F 第2会議室 048-829-7400(SSN)</p>			<p>■福玉便り 6月号 発送作業→7ページ (埼玉労福協)</p>			
26	27	28	<p>29 ■草加市 つながりの会/バスツアー (東京スカイツリー&隅田川クルーズ) 048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当)</p>	<p>30 ■さいたま市 つながろう!放射能から 31 避難したママネット@埼玉 クッキーを作ろう! 13:00~17:30 コーププラザ浦和 bjksr146@yahoo.co.jp (木村さん)</p>		

6月

2	3	4	<p>5 ■加須市 双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ 9:30~11:30 いきいきサポートセンター★ 080-5532-7380 (薄井さん)</p> <p>■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)</p>	<p>6 ■上尾市 東日本大震災に咲く会ひまわり会 7 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所 048-607-6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん)</p> <p>■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)</p>	<p>8 ■羽生市 羽生つながりカフェ 13:00~15:00 パール羽生 080-5532-7380 (薄井さん)</p>
9	10	11	<p>12 ■草加市 つながりの会 東北復興支援販売 11:00~17:00 物産・観光情報センター 048-932-6770 (草加市社協地域福祉担当)</p> <p>■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111</p>	<p>13 ■上尾市 映画「原発被災地になった故郷への旅〜福島県南相馬市14 〜」上映会 13:30 開場シラコバト団地第一集会所 048-607- 6723 (団地自治会事務所) 080-3091-6215 (橘さん) →1p</p> <p>■上尾市 向原団地被災者の会 10:00~向原団地集会所 070-5322-2922 (冨永さん)</p> <p>■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p> <p>■鴻巣市 賠償説明会 時間・場所調整中 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)</p> <p>■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん) 21</p>	<p>15 ■さいたま市 進学教育説明会 14:00~16:30 ときわ会館5階・ 中ホール 048-833-8731 (埼玉労福協) →1ページ</p>
16	17	18	<p>19 ■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎 108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)</p>	<p>20 ■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 13:00~16:00 国家公務員宿舎1号棟1階集会所 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)</p> <p>■鴻巣市 賠償説明会 時間・場所調整中 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)</p> <p>■加須市 かそびばプレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん) 21</p>	<p>22 ■所沢市 青空あおぞら 22 13:30~16:00 新所沢公民館 048-829-7400(SSN)</p> <p>■ふじみ野市 おあがんなんしょ 定例サロン (じっくり語ろう) 13:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)</p>
<p>■久喜市 お茶こふるさと会 10:00~12:00 ネット21久喜事務所 090-6855-7140 (木幡さん)</p>			<p>■福玉便り 7月号 発送作業 (埼玉労福協)</p>		
23	24	25	<p>26 ■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111</p>	<p>27 ■さいたま市 つながろう!放射能から 28 避難したママネット@埼玉 13:00~17:30 コーププラザ浦和 bjksr146@yahoo.co.jp (木村さん) →6p</p>	<p>29 ■所沢市 青空あおぞら 22 賠償勉強会 (個別相談あり) 13:30~16:00 新所沢公民館 048-829-7400(SSN)</p> <p>■横溝町 バーベキュー交流会 小松沢レジャー農園</p>

福玉便り
お送りします。
ご希望の方には、
本紙を郵送でお送りします。

『福玉便り』編集委員会
連絡先: (一社) 埼玉労働者福祉協議会
電話 048-833-8731
メール: fukutama@431279.com

こちらのサイトにも情報があります。
http://431279.com
(SSN: 震災支援ネットワーク埼玉)

福玉 募金 を呼びかけています。
埼玉県内に避難されている福島・東北の方々と、
互いに支えあう関係を、これからも。